

人口と世帯

人口 400,171人
 男 198,438人
 女 201,733人
 (前月より326人増)
 世帯 162,410世帯
 (前月より244世帯増)
 (15年10月1日現在)

発行・町田市 編集・企画部広報広聴課
 〒194-8520 東京都町田市の中町1-20-23
 市役所の代表電話042・722・3111
 発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

町田から世界へ トランポリン競技で 6人の選手が世界大会へ

ドイツのハノーバーで10月20日から25日まで、第16回世界年齢別トランポリン競技大会が行われました。この大会の日本代表選手団の一員として町田市から6人が選ばれ、出発前の10月17日、その報告に寺田市長を訪ねました。

選手は、南四小5年生の内山智加さん、町田一中3年生の大沢敦さん、石井政幸さん、薬師中3年の折井駿さん、野津田高校3年の瓜真守さん、中田侑歩さんの6人です。

市長から激励の言葉を受けた後、選手の瓜さんは、「練習の成果を出して予選通過をねらいたい」と語っていました。



市を訪れた選手の皆さん



眞之介ちゃんを囲んで、青山夫妻と寺田市長

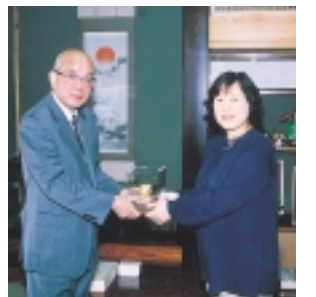
市制施行当時は6万1105人。その後、昭和39年に10万人目を、昭和45年に20万人目を、昭和57年に30万人目を、平成3年に35万人目を記録しています。その後人口増加率は平成6年に一時減少傾向になりましたが、一般の宅地開発の他、鉄道駅周辺や工場跡地に大型マンションの建設が進み、ここ3年の伸び率は約1・7%から2・1%で推移しています。

町田市の人口が9月8日に40万人を超えました。全国で41番目、多摩地域では八王子市に次いで2番目です。40万人目の市民になったのは、中町4丁目にお住まいの青山稔広さん、美穂子さん夫妻の日、17日、24日の正午から1時に

40万人目の市民は青山眞之介ちゃん

人口が40万人

本庁舎1階ロビーで記念コンサートを開催しました。また、寺田市長が、10月18日に青山家を訪問し、市長直筆で「あなたの人生が豊かで幸せ多きことを祈ります」とメッセージが添えられたアルバムと、町田美術工芸館で作成した干支の置物「未(ひつじ)」を記念品として贈りました。



記念品を贈りました

町田市情報セキュリティ基本方針の概要

項目	説明
目的	市が保有する情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持し、市民からの継続的な信頼を獲得することを目的とする。
適用範囲	市が保有する情報資産、情報資産に関する業務に携わる職員及び市の事務事業の委託を受けた者
情報セキュリティ対策	情報資産を、故意(盗聴、不正アクセス、改ざん、破壊、窃盗等) 過失(入力ミス、操作ミス等)、災害(火災、地震等) 故障等の脅威から守るための対策を講じる。
対策基準及び実施手順の策定	基本方針に基づき、情報セキュリティ対策を実施するための遵守事項、判断基準及び具体的な手順として、情報セキュリティ対策基準及び実施手順を定める。
違反者への対応	違反した職員及び受託者については、その重大性、発生した事案の状況等に応じて厳正に対応する。
情報セキュリティ監査の実施	情報セキュリティ対策が遵守されていることを検証するため、定期的に監査を実施するものとする。
評価及び見直し	情報セキュリティ対策についての評価を定期的実施するとともに、情報セキュリティを取り巻く状況の変化等に対応して、基本方針、対策基準、実施手順及び情報セキュリティ対策の見直しを実施するものとする。

市の情報管理体制は、町田市個人情報保護条例、町田市文書取扱規程、町田市コンピュータシステム管理運営規程をはじめとする諸制度によって整備されています。今後、市民と市だけでなく、市と国や他の自治体とのネットワーク

町田市情報セキュリティ基本方針が策定

市では、この基本方針に基づいて情報管理に関する諸制度をより一層効果的なものに改め、情報の安全管理を推進していきます。この町田市情報セキュリティ基本方針は市政情報やまびこ、広報広聴課広聴係(市民相談室)で無料配布しています。また、町田市ホームページでもご覧いただけます。町田市情報システム課 ☎724・4432

第33回東京都消防操法大会 町田市消防団が 優勝



都内の各消防団が一堂に会して日ごろの訓練の成果を競う「第33回東京都消防操法大会」が、10月11日、東京消防庁消防学校で開催され、ポンプ車操法の部で町田市消防団(萩生田勝利団長)が優勝しました。大会には都内から23消防団が参加し、町田市消防団は南多摩地区の代表として出場したものです。

同消防団の代表となったのは、6月29日に行われた第32回町田市消防団ポンプ操法大会で優勝した第4分団第3部です。ポンプ車操法の部では、その操法の正確さと速さ、チームワークを競いました。団員は、仕事を持ちながらも毎晩のように練習を積み、今回の優勝を勝ち取りました。なお、今回の優勝は、平成12年第30回記念東京都消防操法大会の準優勝に続く栄冠です。



保田研二さん

国際協力事業団(JICA)のシニア海外ボランティアに市内にお住まいの保田研二さんの派遣が決まり10月29日ドミニカ共和国に出発しました。任期は2年です。保田さんは民間会社でエンジニアリング・プロジェクト業務にたずさわっていました。定年後に、現地の人々とともに活動

市内にお住まいの保田さん

シニア海外ボランティア派遣

出発を控え、「環境を犠牲にしながら発展を推進してきた過去の教訓を生かし、少しでも問題解決に役立てよう努力したい」と抱負を語ってくれました。

し、持っている技術を生活環境の改善に役立てたいという気持ちから、シニア海外ボランティアを志望しました。過去にサモア及びホンジュラスへ派遣された経験があります。今回の派遣は3回目になり、公害発生源や廃棄物の減量に関する政策立案への助言など、環境行政のアドバイザーとして活動する予定です。